

校長室から 令和元年10月23日

防災・減災の重要性

学校では自助・共助の精神で

令和元年度の第2学期が始まりました。1学期終業式の翌日から台風19号の影響で大雨となり、1、2年生が張り切って頑張ろうとしていた新人戦の予定が大幅に変更になりました。(まだ、大会が順延になっている種目もあります。)また、12日(土)の昼頃からは長町中学校も他の小中学校同様、避難所となり、体育館には大勢の地域住民の方々が批難してきました。地域の避難所委員会の方々と協力しながら、本校教職員も夜通しの安全確認と校内の管理、点検を行いました。

大雨に見舞われた12日から13日にかけての深夜、突然、本校屋上プールから水が校舎に滝のように漏れ出し、西校舎中央階段(あかつき階段)から、4～3階廊下にかけて水浸しになりました。本校の教職員で流れ出してきた水を男子トイレの排水口に掃き出し続けましたが、およそ3時間に渡り、教職員で作業を続けました。それと同時間帯に今度は、4階パソコン室の天井から大量の水漏れがみつき、パソコン数台が修理の対象となりました。朝までの復旧作業でなんとか、ぎりぎり教室等の被害を免れました。

そしてまた、総合防災訓練の日に、大雨で、全市一斉の避難所開設となり、長町地区の総合防災訓練全体が中止となりましたが、訓練ではなく、実際の避難所運営となりました。

この台風で、宮城県内は地盤が緩んでいて、少しの雨でも土砂災害の恐れがあります。そのため、大雨が予想される今週25(金)、26日(土)、長町中学校はまた、避難所となる可能性があります。部活動の練習日程やまだ終了していない大会の予定もさらに変更になる可能性もあります。

長町地区は、毎年10月に地域での総合防災訓練を実施しており、訓練の成果が顕著に現れ、今回、地域の方々の避難所運営はとてもスムーズに行われ、その運営ぶりは頭が下がる思いでした。本校教職員も避難所設営のお手伝いと、学校再開に向けて大きく貢献してくれました。

そして、長町中学校の生徒達も、校内での避難訓練や集団下校訓練を定期的に行っているため、その時々での訓練等ではすばやい行動ができます。10月30日(水)にも、火災を想定した避難訓練を実施予定です。9月に防災講話でゲストティーチャーとして来校してくれた講師の先生は、静かに整列し、聴く態度も素晴らしかった本校の生徒達に「このような態度であれば、きっと災害が起きても、大丈夫ですね。」と話してくれました。

また、本校で地域貢献活動や「ともにチーム長町プロジェクト」に力を入れているのは、このような災害が起きた時、まずは自分の命、家庭の方々の命を守るという事を第一に、そのうえで、他者のために何かできるかを考えるという意味もあります。実際に、今回も避難所設営時、そして避難所閉鎖時に、積極的にお手伝いしてくれた生徒が多くいた事はとても嬉しい事でしたし、地域の避難所委員の方もとても感謝してくれました。

今回は大雨や土砂災害等の大きな被害を受けた地域が宮城県内にも複数あります。私達の長町学区も土砂災害の危険性がまだあります。皆様のご家庭ではどのように災害に備えているでしょうか。今週末、また大雨等の危険性があるようです。災害は地震や津波だけではなく、是非、自分ごととして捉え、情報をしっかりと受け取りながら、家庭でも命を守る備えをしてほしいと思います。